

公開講演会

早稲田大学リサーチフェロー

高明元博士



日時：2025年4月12日（土）

15時30分～17時30分

会場：早稲田大学戸山キャンパス 33号館 3階第1会議室

主催：早稲田大学文学学術院東洋哲学コース

後援：仏教伝道協会

The Evolution of *Vāsanā*: Tracing Its Multifaceted Meanings

（習気熏習説の発展—その多面的な意味の探求）

使用言語：英語（通訳はありませんのでご注意ください）

概要：仏教の *vāsanā*（習気/熏習）の概念は、一つの起源から直線的に発展したのではなく、むしろ複数の異なる起源に由来する諸思想が融合したものである。系譜学的検討によれば、*vāsanā* という概念がもつ主な側面は、以下の四つに分類できる：(1) 業の習気、(2) 有為法の熏習、(3) 煩惱の残習、(4) 多聞熏習である。*Vāsanā* が仏教において重要な用語となるにつれ、その多様な意味を統合する新たな教義体系が形成された。結果として、後世の仏教徒たちは *vāsanā* を、異なる文脈においても一様な概念として捉えるようになった。

- 対象： 学生、教職員、一般（予約不要）
- 参加費： 無 料
- 問合先： 早稲田大学東洋哲学コース室（TEL 03-5286-3701）